

西岡 DPC 分科会長「病院の隠れている機能を導き出すことが課題」

中医協・DPC 評価分科会の会長を務める西岡清氏（横浜市立みなと赤十字病院院長）は 7 月 17 日のモダンホスピタルショウ 2009 で DPC の新たな機能評価係数について講演し、「病院の機能は、まだ隠れているものがたくさんあると思う。今後はそうした機能をいかに上手に導き出すかが課題となってくる」との認識を示した。

西岡分科会長は、新たな機能評価係数を設定するに至った経緯として、調整係数が現行の機能評価係数で評価されていない機能の評価する役割も担っていたと述べ、調整係数を廃止するだけでは多くの DPC 対象病院が経営的に打撃を受けてしまうため、これまで調整係数で評価を行っていた機能を洗い出して新たな機能評価係数として設定し、併せて現行の機能評価係数も見直すことになったと説明した。

新たな機能評価係数の洗い出しについては、ICU や病理検査など特定の患者だけが受ける医療については加算という形で対応し、病院の入院患者全体が享受する機能と地域に必要な機能を係数化することを前提に、急性期医療を反映する機能、医療の透明化、効率化、標準化、質の向上という患者にとってメリットのある機能、社会的に求められている機能、地域医療への貢献の 4 つのポイントから、まず 35 項目を抽出したとした。そこから、DPC 特有のものとして議論する項目、DPC に限らず急性期医療全体の問題として議論する項目、現時点ではデータが揃わないがいずれ検討する必要がある項目の 3 つに分類。その結果、現時点で下表の 10 項目まで絞り込みが行われ、「 」の 4 項目については、次

期改定での採用が合意されていると述べた。ただ、項目の解釈について西岡会長は「一部誤解されている」と述べ、効率化の評価については、入院患者の状態が全国平均と同じであると仮定した時に在院日数が短い病院を評価するものだが、これは、効率化して全国平均よりも在院日数を短くしていることが全体の医療費削減につながっているという意味で、効率化で病院が儲かっていると解釈するのではないとし、無駄を省くという DPC 制度の目的に沿った評価であると解説した。

【新たな機能評価係数の絞り込みについて】

・次期改定での導入が妥当と考えられた項目

1. DPC 病院として正確なデータを提出していることの評価
2. 効率化に対する評価
3. 複雑性指数による評価
4. 診断群分類のカバー率による評価

・次期改定での導入を検討するため、さらにデータ分析や追加の調査を実施すべきとされた項目

1. 救急・小児救急医療の実施状況および救急における精神科医療への対応状況による評価
2. 患者の年齢構成による評価
3. 診療ガイドラインを考慮した診療体制確保の評価
4. 医療計画で定める事業等について、地域での実施状況による評価
5. 医師、看護師、薬剤師等の人員配置（チーム医療）による評価
6. 医療の質に係るデータを公開していることの評価

### **医療の質のデータ公開は病院ランキングにつながらないように**

具体的な係数の設定方法の議論はこれからだが、西岡会長は現在絞り込まれている項目の中で最も大きな問題を抱えているのが「医療の質に係るデータの公開」だと述べた。医療の質に関してはさまざまな指標が考えられ、指標を選んで DPC データから抽出して公表していきたいとしたが、公表することで病院ランキングにつながる恐れがあることを指摘。ランキングにつながらないように現在 MDC 研究班に指標を選んでもらっているとし、MDC 研究班が選んだ指標を吟味した上で最終決定し、DPC データから抽出して毎年公表することになるだろうとの見解を示した。

### **適正な支払いの仕組みを作るためには、まだまだ整理が必要**

今後の検討課題としては診断分類表や包括範囲の見直し等を挙げ、薬剤を投与し続けなければならぬ HIV 感染症や血友病に関しては、医療資源病名が他疾患になった場合は薬剤費用が十分に反映されていないこと、個々の疾患に HIV 感染症や血友病の薬剤を使用した場合の分類を設定するのは難しいことから「こういったものは出来高になるかもしれない」との考えを示した。また、人工透析患者については、現行ルールでは、転倒骨折で入院しても医療資源病名が慢性腎不全になってしまうことも問題視し、議論が進められているとした。

さらに、機能評価係数の将来的な課題にも言及し、「最初のうちは新たな機能評価係数も設定しやすいだろうが、今後は隠れている機能をいかに上手に導き出すかが課題になってくる」と述べ、DPC 対象病院が良い医療を提供していくことで適正な評価を受け、地域とも密接な連携がとれるとともに患者も満足し、さらにはそうした病院に医療従事者が集まるような制度構築の必要性を示した。